

# 新たな雇用の創出へ 地域連携雇用創出推進本部を設置

景気の低迷に伴う雇用不安が、全国的に広がっています。市内の雇用情勢も悪化しており、市は関係団体と連携しながら、雇用の創出に向けた取り組みを実施しています。

## #01 市内雇用情勢

アメリカの金融不安に端を発した経済不況により、非正規労働者の雇止めなど、厳しい雇用情勢が全国的に広がっています。昨年十二月から今年一月にかけて市などが実施した市内誘致企業、進出企業三十四社を対象にした聞き取り調査では、平成二十年の一年間で約百人の社員が減少しています。また三月末までにはさらに減少することが見込まれ、市民生活や地域経済に与える影響が懸念されています。

## #02 緊急雇用対策

こうした情勢を受け、市は十二月十五日に本田市長を本部長とする「遠野市緊急雇用対策本部」を設置。

## #03 雇用の場創出

市は花巻農協、市保育協会、遠野地方森林組合などの関係団体と協力し▽新たな就業先の創出▽離職者の再就職に向けた研修受講への支援▽新たな離職者が出ないよう市内企業を支援―など総額三千百万円の雇用創出事業をまとめ、一月九日の臨時議会で可決されました。市役所や市保育協会が臨時職員な

また、同日、ハローワーク遠野、遠野県民センター、遠野商工会とともに「遠野市緊急雇用対策連絡会議」を組織し、市内企業を訪問して雇用情勢の把握や雇用維持の要請に努めてきました。同月十八日には、とびあ一階に「雇用等相談窓口」を開設し、これまで約二百人が利用しています。

どを採用し、一月中旬から雇用を開始しています。また、民間企業の雇用を支えるための試行雇用制度(試用期間を設けて労働者を雇用した企業に、国が一人につき月額四万円を支給)を利用した企業に、市も月額二万円を上乗せすることになりました。

### ◎市地域連携型緊急雇用創出事業

事業内容	対象人数
民間企業のトライアル雇用	15
市の委託事業(5事業)	25
市の業務(8事業)	20
研修受講や技術取得への支援	40
市内業者への雇用継続支援	500

## #04 取り組み強化

一月十三日には「市緊急雇用対策本部」を「地域連携雇用創出推進本部」に改組し、同日付で「産業振興部」内に「地域連携雇用推進室」を設置しました。今後、地域の企業・団体と連携しながら、新たな雇用の場の創出や各種資格取得支援などの取り組みを強化していきます。

### 1月13日付け人事異動

- ◆産業振興部地域連携雇用推進室
  - ▷室長(企業立地担当) 菊池正
  - ▷主査 佐々木啓
  - ▷主事(兼) 齋藤浩司
- ◆産業振興部産業振興課
  - ▷課長補佐兼商工労働係長 菊池太一
  - ▷主任 鈴木真一
- ◆健康福祉部健康福祉の里保健課
  - ▷主任 伊藤芳



雇用に関する相談や各種手続きに対応するハローワーク遠野



特集

# 燃える、若人

遠野の若人が、全国を舞台に活躍した。自らの夢や目標に向かって、学業やスポーツに躍動する若い力にクローズアップ。

